

今こそ問う水力発電の価値

～その恵みを未来に生かすために～

1891(明治24)年に日本で最初の一般事業用の水力発電所として送電を開始した京都市営蹴上発電所。それから130年近くを経た今日、日本における再生可能エネルギーとしての水力発電の価値を再評価するため、国土文化研究所では2015年より「水力発電価値評価研究会」を設置し、既存のダムの有効利用を含めた水力発電の今後の開発・推進方策のあるべき姿について研究を行ってきました。このたび、その研究成果をとりまとめ、「今こそ問う水力発電の価値～その恵みを未来に生かすために～」と題して出版することといたしました。この出版を記念して、研究会のメンバーを講師とするオープンセミナーを開催します。水力発電やダム再生に関心のある皆さまとともに、これからの再生可能エネルギーのあり方を考えていきたいと思ひます。

2019年

11月7日(木)

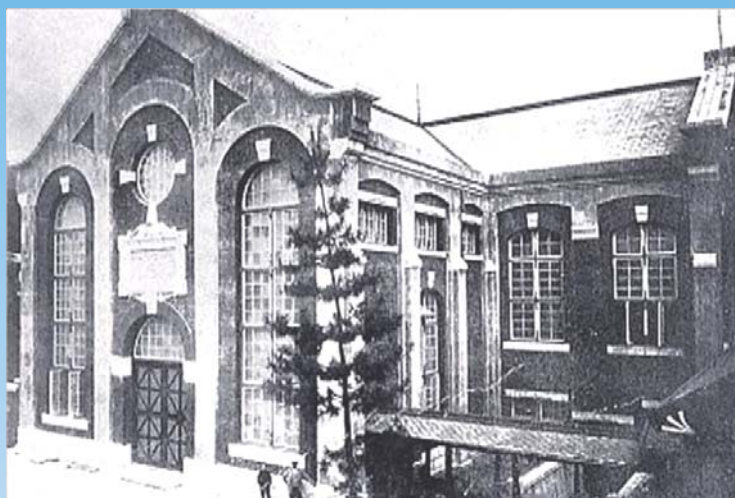
14:00 - 17:00

受付開始 13:30

参加費無料 定員:270名

キャンパスプラザ京都
4階 第2講義室

(京都市大学のまち交流センター)
JR 京都駅より徒歩5分



京都・第二期蹴上発電所 (出典:京都市上下水道局・田邊家資料)

プログラム

14:00-14:10 開会

14:10-14:50 講演1 「今こそ問う水力発電の価値～書籍出版の狙い～」

京都大学教授 角 哲也 氏

14:50-15:10 講演2 「中国地方のとある山村の小水力物語り」

NPO 法人水力開発研究所 代表理事 井上 素行 氏

15:10-15:30 講演3 「水力発電の深化～水力発電の未来に向けて～」(株)建設技術研究所九州支社ダム部 次長 酒井匠氏

15:30-15:50 講演4 「地域のための小水力ー地域の水資源の過去とこれからの活用ー」

(株)リバー・ヴィレッジ代表 村川友美氏

15:50-16:00 休憩

16:00-16:50 パネルディスカッション「サステナブル社会に貢献する水力発電」

コーディネーター》角 哲也氏 コメンテーター》池田 駿介氏
パネラー》井上 素行氏・酒井 匠氏・村川 友美氏

16:50-17:00 閉会



角 哲也 氏



井上 素行 氏



酒井 匠氏



村川 友美氏



池田 駿介氏

共 催: CTI 建設技術研究所 国土文化研究所

京都大学防災研究所 水資源環境研究センター

後 援: 公益社団法人 土木学会関西支部

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部



土木学会継続教育 (CPD) プログラム (プログラム認定番号: JSCE19-0906) 単位: 2.5